



# おいちよう

令和3年 3月22日  
発行 鶴瀬小学校No.15  
049-251-0144・0149  
文責：校長 松波徳美

学校教育目標 **かしこく《学ぶ》 やさしく《和す》 たくましく《鍛える》**

鶴っ子のめあて

にこにこ

きびきび

ぴかぴか



## 「 次の空へ 」 — 卒業に寄せて —

3月24日は卒業証書授与式です。6年生が呼びかけの中で「次の空へ」という歌をはさみます。作詞・作曲は弓削田健介さんです。子供達が親しんでいる「ビリーブ」も弓削田さんの作品です。弓削田さんは「次の空へ」の歌詞で  
♪次の空へ 空へ 生きていくすばらしさを 少し分かり始めた夏の日  
「ありがとう」を抱きしめて 歩こう次の空へ 歩こう次の空へ  
と、歌っています。

令和2年度は、生きていく難しさを感じた1年でした。命というものを自分の権利でなくしていく人が後を絶ちませんでした。コロナで命を落とすかもしれないことにおびえた1年でもありました。でも、生きていくすばらしさと「ありがとう」という言葉を抱きしめながら、私たちは次の空へと歩いていくのです。

令和3年1月26日に、中央教育審議会から「令和の日本型学校教育」構築を目指して～ 全ての子供たち可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的実現～という答申が出されました。

### 急激に変化する時代

- ・ 社会の在り方が劇的に変わる ・ 「 Society5.0 時代 」 の到来
- ・ 「コロナウイルスの感染拡大など予測困難で先行き不透明な時代」 など

「一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることとができるようにすることが必要」だといわれています。

つまり、「生きる力の創造」なのかなあと、考えた次第です。未来を生きる子供達が豊かに生きていける力を身につけさせていくために、今後も全力で鶴瀬小学校は教育活動に取り組んで参ります。これからも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。1年間ありがとうございました。